

旧横田家住宅の防災施設整備工事に伴う休館について

1 旧横田家住宅の概要

- ・約1,000坪の敷地内に主屋・表門・隠居屋・土蔵・庭園・菜園が配された旧松代藩武家屋敷で、主屋は寛政6年（1794年）に建てられ、江戸後期の様相を変えることなく伝えている。
- ・昭和59年3月に横田家から長野市に寄贈されたもので、昭和61年1月22日に主屋・表門・隠居屋・土蔵2棟が、重要文化財に指定されている。

【これまでの整備状況】

- ・昭和63年度～平成3年度 解体修理工事
- ・平成30年度～令和2年度 耐震補強・屋根葺き替え工事

2 防災に係る課題と防災施設整備工事の内容

- ・主屋と隠居屋が茅葺屋根で、周辺の火災により延焼被害を受ける可能性が高い。
 - ・常駐職員は1名（夜間不在）であり、現状の防災施設（平成4年度整備）では火災の早期覚知・初期消火・延焼防止が困難である。
- ➡ 建物の特性や現状の管理体制、周辺環境等を含めた防災上の課題に対応し、文化財の保存と来訪者の安全を担保するため、主に火災に対する防災施設の更新・充実を図る。
- ❖ 老朽化した設備の更新（前回整備から30年以上経過）
消防用ディーゼルエンジンポンプ、放水銃（自動首振式に更新）、放水用配管
 - ❖ 防火設備の新設等
地下式防火水槽（60 t）の追加、易操作性消火栓の新設、特殊消火器の配置、炎感知器・煙感知器の設置 等
 - ❖ その他
板塀に消防隊進入用の小扉を設置、主屋天井裏に遮炎シートを敷設

3 防災施設整備事業の事業期間及び事業費・工事事業者

- ・事業期間：令和4年度～令和6年度
(実施設計・工事監理・建築工事・機械設備工事・電気設備工事)
- ・事業費（予算額）：総額 197,307千円
- ・工事事業者：実施設計・工事監理 (株) 三友^{さんゆう}ファシリティーズデザイン
建築工事 北信土建(株)
機械設備工事 (株) 齊藤工務店
電気設備工事 10月中旬決定予定

4 令和5年度の休館期間

- ・期間：令和5年10月20日～1月3日（予定）
※これ以降も工事の進捗状況に合わせて休館する予定あり
- ・来館者に対しては、広報ながのや真田宝物館専用ホームページで周知する。
- ・近隣の住民に対しては、工事の実施内容を含め、説明会を行う。